



**教育目標** 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

**知性**：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

## 1日総合実施 普段の授業では味わえない体験活動

9月8日（水）各学年では、「1日総合」として総合的な学習の時間を実施しました。1年は「探究活動 わが街須賀川」のふるさと学習を、2年は「職場体験」を、3年は「校内高校説明会」と「松明あかし学習」を実施しました。

### 1年「探究活動 わが街須賀川」

1年生は、ふるさと学習として「須賀川市の探究学習」を行っています。その学習の一環として、実際に須賀川の街に出かけて調べてきました。訪問させていただいた施設等は右表のとおりです。

実際に訪れて、担当の方からお話を聞いたり、見たり、体験したりしたことで、生徒たちは、「わが街 須賀川」への理解を深め、郷土に対する「誇り」や「愛着」をもつことができました。

お忙しい中、一中生に貴重な体験の機会を提供して下さった各施設・事業所様、本当にありがとうございました。

#### 訪問した施設・事業所様

- 須賀川絵のぼり（吉野家）
- 須賀川と松尾芭蕉  
（風流のはじめ館他）
- 須賀川とウルトラマン  
（市役所観光交流課他）
- 釈迦堂川花火大会  
（同観光交流課・糸井火工）
- 須賀川の農業（はたけんぼ）



絵のぼり「吉野家」



風流のはじめ館



ウルトラマンの説明



花火製作の体験



はたけんぼを見学

### 2年「職場体験学習」

2年生の一日総合は、「職場体験学習」を行いました。須賀川市内の各企業や、学校等にご協力を頂き、職業の意義や社会的な役割について学んできました。

本校では、生徒が正しい勤労観・職業観を身に付けるとともに、将来の職業選択や進路実現に向けてキャリア教育を行っておりますが、その一環として、職場体験を例年行っております。

実際に各事業所で職場体験を行った生徒からは、「働くことの大変さがわかった」「楽しかった。仕事の内容が理解できた」という感想がありました。各事業所様にはお忙しい中、職場体験の趣旨をご理解のうえ、生徒の受け入れていただき、誠にありがとうございます。

#### 職場体験を受け入れていただいた事業所様

- 須賀川警察署 須賀川消防署 ハローワーク須賀川
- 須賀川税務署 安田アグリット 平半
- モスバーガー 古川製菓 シャトレーゼ とん珍
- レイマ美容室 Rupo美容室 須賀川幼稚園
- 須賀川一小 阿武隈時報 星総合印刷 渡辺建設
- 内山急送 ダイユーエイト須賀川東店 芳賀生花店
- ミニストップ須賀川上北町店
- セブンイレブン須賀川インター店
- 福島トヨタ須賀川店 クラフト



コンビニで商品陳列  
（セブンイレブン須賀川インター店）



染物体験  
（平半）



自動車整備  
（福島トヨタ須賀川店）



シャンプーの様子を見学  
（Rupo 美容室）



消防服に着替えて  
（須賀川消防署）

### 3年「校内高校説明会」・「松明あかし」

3年生の一日総合は、「校内高校説明会」と「松明あかしの取組」を行いました。

午前には、県中地区の県立・私立高校の先生方をお招きして高校説明会を行いました。生徒達は真剣な態度で参加し、高校の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。今回の説明会を通して、進路への意識をさらに高めた様子でした。

午後からは、「松明あかし」の取組を行いました。今年度も11月の「松明あかし」は神事と大松明1本のみ規模を縮小した形で行われることになり、昨年度に引き続き中学生の参加ができなくなりました。しかし、本校ではこれまで先輩方が築いてきた伝統を受け継ぐためにも、松明あかしの取組を行い、松明製作班、絵のぼり制作班、記録の報道班に分かれて学習することになりました。松明は通常の2分の1サイズを2本昇降口に飾る予定です。



高校生活について説明



真剣に話を聞く3年生



絵のぼりの説明を聞く生徒



講師の先生に取材する報道班

## 大健闘の中体連支部駅伝競走大会

9月2日(木)、鏡石町鳥見山陸上競技場周辺コースにおいて、中体連岩瀬支部駅伝競走大会が行われ、本校からは特設駅伝部が男女各2チーム出場しました。

男子の部はAチームが2位・Bチームが7位、女子の部ではAチーム7位・Bチーム11位という結果になりましたが、出場した多くの選手が自己ベスト記録を更新するなど、本当によく頑張りました。

特に男子のAチームは、今回大会新記録で優勝したチームに中盤まで競り合っていました。惜しくも2位という結果となりました。そんな中、男子Aチームの2区を走った3年●●●●●さんは、新記録での区間賞に輝く快走を見せてくれました。

本校は常設の陸上部がなく、各部活動に所属しながらの特設陸上部・駅伝部として活動しています。走ることはどの競技にも通じる基礎体力につながっています。毎朝多くの生徒が特設陸上部・駅伝部として練習を行って来ていますが、チームワークもよくいい雰囲気練習を行って来ています。

また、特設陸上部・駅伝部の生徒が頑張っている姿は、本校の多くの生徒や教職員に活力や勇気を与えてくれています。この良き伝統を、1・2年生はしっかりと受け継いでほしいと思います。

男子Aチーム 第2位	●●●●③	●●●●③	●●●●②	●●●●①	●●●●③	●●●●③
同 Bチーム 第7位	●●●●②	●●●●②	●●●●②	●●●●②	●●●●③	●●●●②
女子Aチーム 第7位	●●●●①	●●●●③	●●●●①	●●●●②	●●●●③	
同 Bチーム 第11位	●●●●②	●●●●②	●●●●③	●●●●③	●●●●②	
区間賞 男子第2区	●●●● (新記録)					



男子第1区の力走



ゴールする女子第5区



男子特設駅伝部



女子特設駅伝部

先日行われた中体連支部駅伝競走大会では一中生は本当にかんぱりました。そんな中でのある出来事を紹介します。女子Aチームのアンカーを務めた3年の●●●●●さんは7位でゴールしました。嶋原さんの力走叶わず惜しくも入賞を逃してしまいましたが、●●●●●さんはゴールして自分が走り終えてもゴール付近にとどまり、Bチームの2年生のアンカー●●●●●さんがゴールするまでの様子を見守っていました。そして●●●●●さんがゴールすると、近寄ってねぎらいの言葉をかけていました。その様子を見て、結果よりも大事なものに気づかせてもらったような気がします。疲れていて早く休みたいにもかかわらず、後輩を思いやる優しい先輩がいる一中の良さを改めて教えてもらいました。まさに「秀麗な一中生」の姿です。これからもこの伝統をしっかり受け継いでほしいと思いました。